

農 研 速 報

令和元年 6 月 25 日発行

茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室

〒301-4203 茨城県水戸市上国井町 3402

TEL 029-239-7212 FAX 029-239-7306

水稲の生育状況（6月19日現在、水戸市）

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	今後の栽培管理及び備考
茨城県 (水戸市)	5月1日	「あきたこまち」 幼穂形成期   「コシヒカリ」 最高分けつ期   「ふくまる」 幼穂形成期	「あきたこまち」 3日程度遅い (幼穂長からの 出穂予測)   「コシヒカリ」 平年並 (主稈葉数から みた生育遅速)   「ふくまる」 1日程度遅い (幼穂長からの 出穂予測)	◇6月第2～3半旬の平均気温は平年より低く、日照時間は6月第2半旬でかなり短かったものの、第3半旬は平年並で推移した。  6月19日時点の幼穂長は、「あきたこまち」で0.6mm、「ふくまる」で0.5mm確認であった。幼穂長から予測される出穂期は両品種とも7月17日である(表3参照)。主稈葉数の展開からみた「コシヒカリ」の生育は平年並である。  平年に比べ、草丈は「あきたこまち」はやや長く、「コシヒカリ」、「ふくまる」で並である。平年に比べ、茎数は「あきたこまち」、「ふくまる」で極多く、「コシヒカリ」が多い。平年に比べSPAD測定値による葉色は、「あきたこまち」で濃く、「コシヒカリ」、「ふくまる」で並であった(カラスケールによる葉色は表1を参照)。  本期間の生育は、前回調査時と比較し、低温により草丈の伸長は鈍化した。一方、茎数は最高分けつ期を迎えたため、低温の影響がなかったと考えられる。	◆今後の栽培管理： ●幼穂形成期までに中干しを終了し、間断かんがいに移行する。ただし、減数分裂期頃(出穂前8～15日)に17℃以下の低温が予想される場合には、障害不稔の発生を軽減するため、水深10cm以上の深水管理を行う。  ●いもち病の発生に注意 気温20～25℃で、弱い雨や霧などが続いてイネの葉が長時間濡れるような条件のとき発生しやすいので注意する。 ●イネ縞葉枯病の発生に注意 【病害虫防除所】 病害虫発生予察注意報第1号 令和元年6月6日公表  を参照のうえ、適期に防除を行うこと。

	5 月 10 日	最高分けつ期	「コシヒカリ」 2 日程度遅い (主稈葉数から みた生育遅速)	<p>◇気象概況は 5 月 1 日移植に準ずる。</p> <p>◇主稈葉数の展開からみた生育は平年より 2 日程度遅い。平年より草丈はやや短く、茎数および葉色（カラスケール、SPAD 測定値）は並である。</p> <p>本期間の生育は、低温により草丈の伸長が抑えられたものの、6 月第 3 半旬には平年並の日照時間となり、低温の茎数への影響は少なかったものと考えられる。</p>	<p>●中干し終了後は、3～4 日間隔で入水と自然落水を繰り返す間断かんがいを行う。</p> <p>○6/20 に中干しを終了し、現在は間断かんがいを行っている。</p>
--	----------	--------	--	---	---

# 水 稻 の 生 育 状 況

(作物研究室)

表1 5月1日移植(移植後49日、6月19日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色(カラスケール)			葉色(SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	57.1	122 (46.9)	106 (53.9)	861	172 (501)	130 (662)	4.2	-0.2 (4.4)	-0.1 (4.3)	40.7	+6.9 (33.8)	+3.9 (36.8)	9.8	+0.2 (9.6)	-0.4 (10.2)
コシヒカリ	55.5	106 (52.4)	100 (55.6)	820	137 (598)	124 (663)	4.1	-0.4 (4.5)	-0.0 (4.1)	37.2	+4.0 (33.2)	+1.2 (36.0)	9.9	+0.4 (9.5)	+0.0 (9.9)
ふくまる	58.7	114 (51.7)	104 (56.3)	819	161 (508)	137 (598)	3.7	-0.6 (4.3)	-0.4 (4.1)	36.5	+3.7 (32.8)	+1.1 (35.4)	10.3	+0.2 (10.1)	-0.3 (10.6)

表2 5月10日移植(移植後40日、6月19日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色(カラスケール)			葉色(SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
コシヒカリ	44.2	111 (39.8)	93 (47.5)	673	191 (352)	108 (621)	4.0	-0.5 (4.5)	-0.1 (4.1)	36.3	+0.9 (35.4)	-0.6 (36.9)	8.7	+0.3 (8.4)	-0.3 (9.0)

( ) 内は前年または平年の実数値を示す。

【耕種概要】 1) 苗質：稚苗

2) 植え付け本数：5本/株

3) 基肥施肥量

「あきたこまち」・「ふくまる」 N : P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> : K<sub>2</sub>O = 0.8 : 2.0 : 1.8(kg/a)

「コシヒカリ」 N : P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> : K<sub>2</sub>O = 0.6 : 1.5 : 1.4(kg/a)

【平年値】 平成26～30年の5年間の平均値

4) 栽植密度(株/m<sup>2</sup>)

	2019年	2017～2018年	2014～2016年
あきたこまち	18.5	18.5	22.2
コシヒカリ	18.5	18.5	22.2
ふくまる	18.5	18.5	

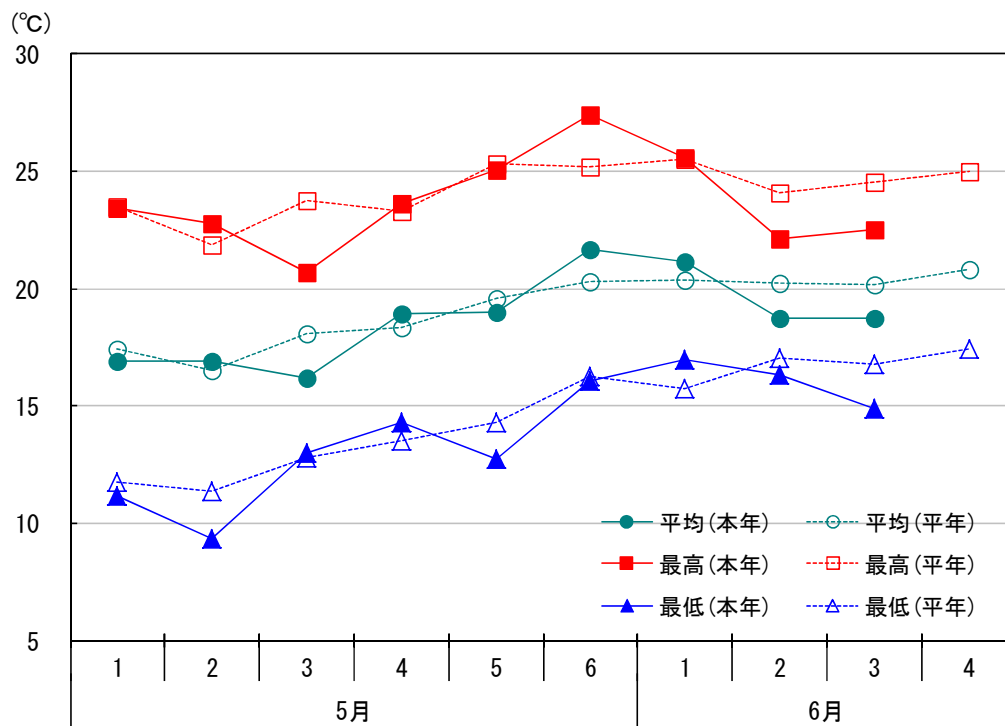


図1 半旬別気温の推移（水戸地方気象台）  
注） 平年値は平成26～30年の5年間の平均値

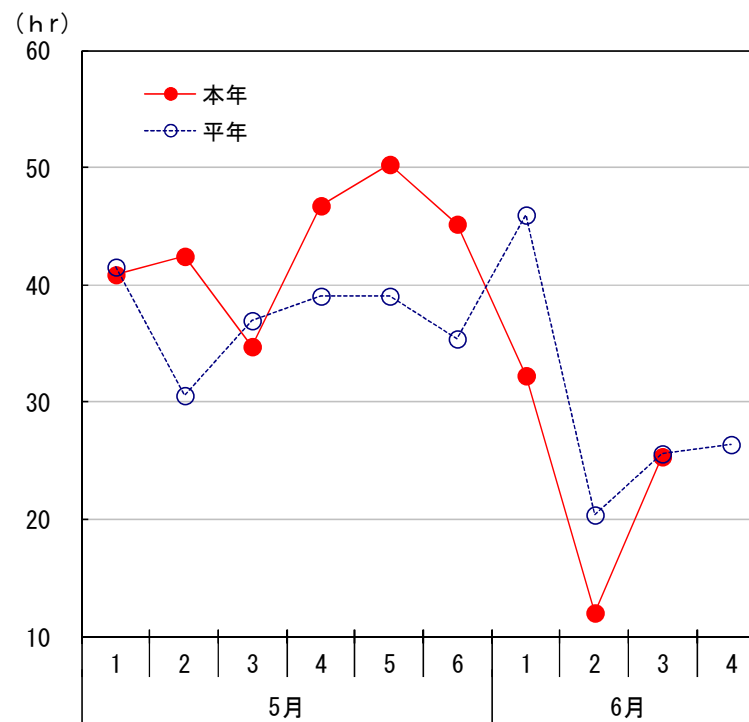


図2 半旬別日照時間の推移（水戸地方気象台）  
注） 平年値は平成26～30年の5年間の平均値

### 移植時期別の 気象条件

移植時期	期間	平均気温 (°C)			積算平均気温 (°C)			積算日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)
5月1日移植	5月第1半旬～6月第2半旬	18.7	19.0	-0.3	863.2	875.6	-12.4	330	315	105
5月10日移植	5月第3半旬～6月第2半旬	19.2	19.6	-0.4	694.0	706.0	-12.0	247	242	102

注） 平年値は平成26～30年の5年間の平均値

表3 幼穂長からみた出穂予測

移植時期	品種	調査日	主稈幼穂長		出穂期予測		
			本年 (mm)	平年 (mm)	本年予測値 (月日)	平年値※ (月日)	平年差 (日)
5/1移植	あきたこまち	6/19	0.56	0.69	7/17	7/14	+3
	ふくまる		0.47	—	7/17	7/16	+1

注) 予測は平成16、18年度主要成果「有効積算温度と幼穂長による水稻の出穂期予測」に基づく。  
今後気温が平年並に推移した場合の予測。

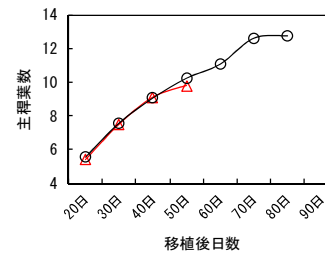
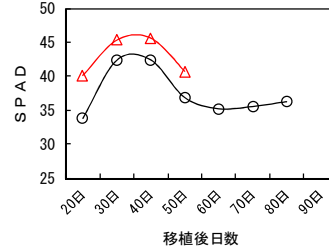
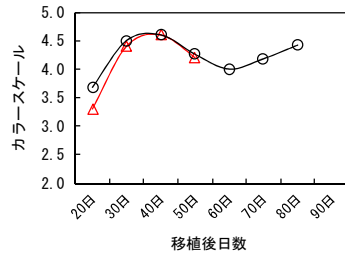
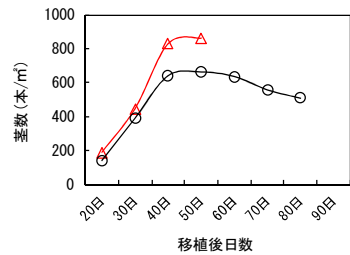
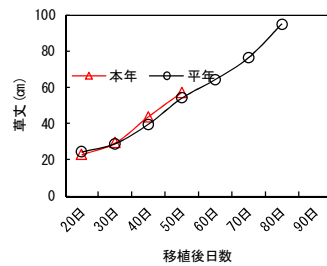
※ 平年値：平成26～30年の5年間の平均値

表4 穂肥施用時期の目安

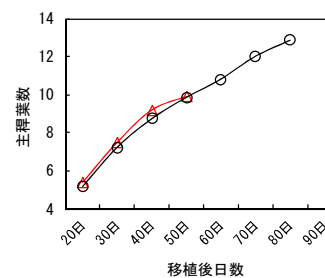
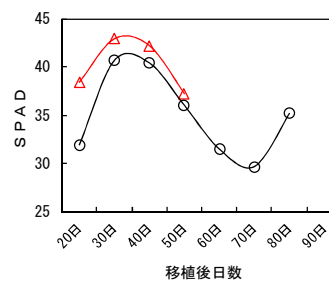
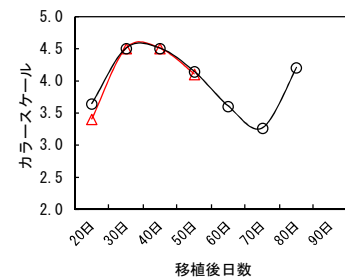
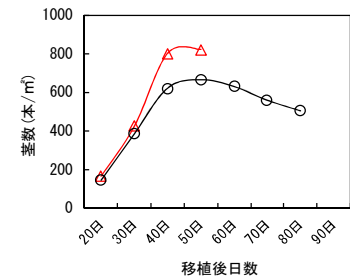
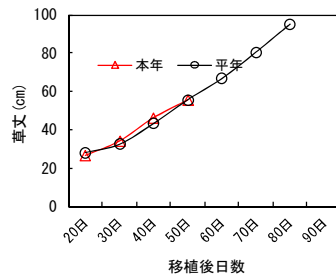
品種	出穂前日数	幼穂長 (mm)
あきたこまち	18～20日ごろ	3～10
コシヒカリ	15日ごろ	30
ふくまる	18日ごろ	10

注) 穂肥は幼穂長を確認し適期に行うこと。

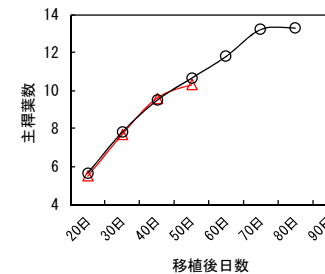
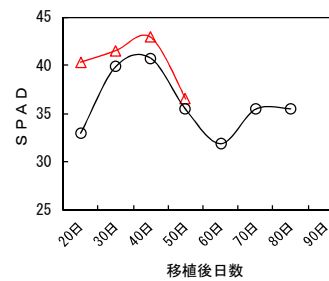
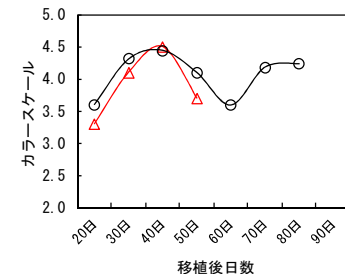
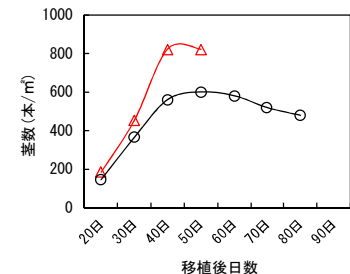
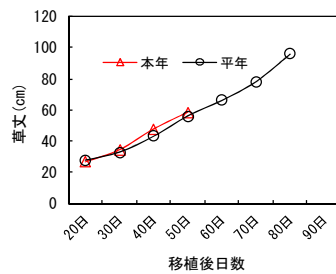
あき  
きた  
こま  
ち



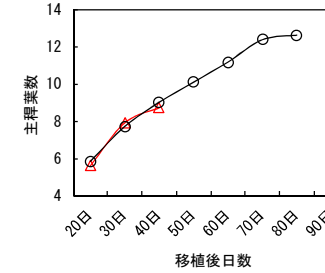
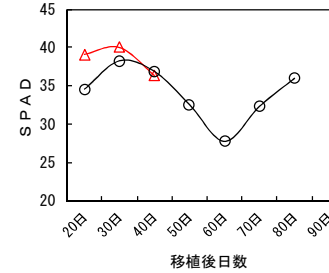
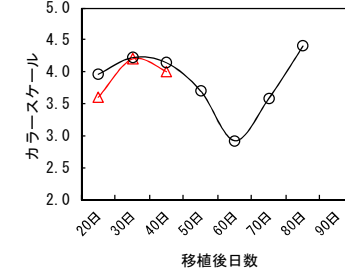
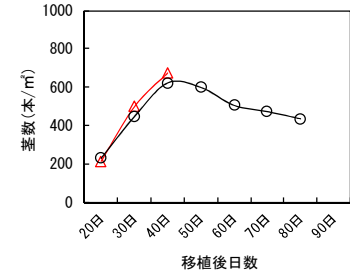
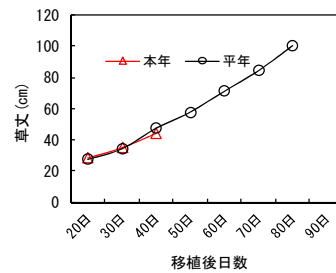
5月1日移植  
コシヒカリ






5月1日 移植  
ふくまる



5月10日移植  
コシヒカリ



【 5 月 1 日移植の生育状況 】 撮影日：6/19		
あきたこまち	コシヒカリ	ふくまる
		
【 5 月 10 日移植の生育状況 】 撮影日：6/19		
コシヒカリ		
